

全ての子どもが心からの笑顔で遊び学べる学校へ

刈谷市立衣浦小学校

校長 竹口 史恭

Aさんとは20年以上前にK中学校で、TT（チームティーチング）の数学の授業を一緒に行っていました。”彼”は、私と同様数学好きで話が合い、私が出題する難問を、いつも想定外の鮮やかな解法で解いていたことを覚えています。

次、彼女に会ったのは、一昨年、前任校の教員研修でLGBT（もしくはSOGI）に関する勉強会のために講師として来校してもらったときでした。”彼”から彼女になったAさんは、これまでの生い立ちを教師らしく明るく冗談を交えながら話してはくれましたが、当事者となれば想像しがたいつらいこともたくさんあったことと思います。会の後、Aさんとは、外見の変化は全く意識することなく、1時間以上数学談義に昔と変わりなく話を咲かせることができました。そんなことはなかったとAさんは言うてはくれましたが、当時、自分もつらい思いをさせたのではと申し訳ない思いは今も消えません。

多様な性的指向や性自認が社会で認識された今、子どもたちにはそんなつらい思いをさせてはいけません。ジェンダー平等も考慮し、刈谷市では本年度より男女混合名簿を採用し、男女ともに敬称は「さん」に統一しました。本校においては、新入生に向けた入学のしおりで、黄色の帽子の選択を男女で分ける記述を訂正しました。また、中学校では、制服の改定を予定しています。

この衣浦小学校を、全ての子どもが心からの笑顔で遊び学べる学校となるよう、職員一同心を合わせて全力を尽くしていきます。至らぬ点がまだまだあるかと思しますので、お気づきのことがありましたら御教示いただけるようお願いいたします。

令和4年3月 学校新聞より